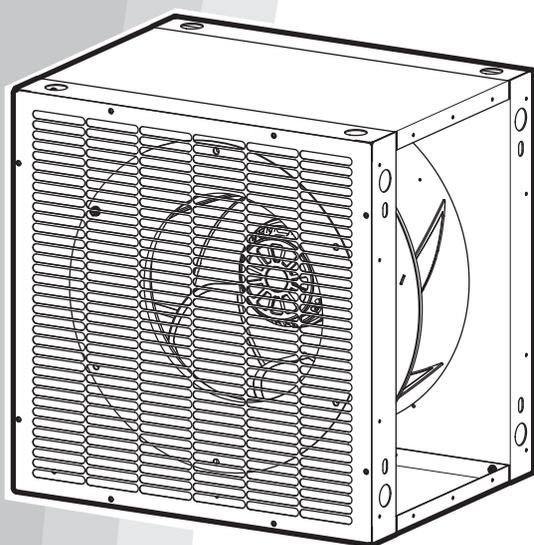


ネポン ダクトファン

施設園芸用ダクト接続式送風機

DF-450T

もくじ



お客様へ

このたびはネポン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

工事をされる方へ

工事を始める前に、必ず「工事編」をお読みください。

工事完了後、必ずこの「取扱説明書」をお客様にお渡しください。

製品保証

「保証書」は別途添付しています。「取扱説明書」とともに、大切に保管しておいてください。

◎この製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

◎この製品は施設園芸用です。他の用途には使用しないでください。

取扱編

| | | |
|-----|------------------|----|
| 1 | 安全上のご注意 | 2 |
| 2 | 各部のなまえ | 4 |
| 3 | 使用方法 | 5 |
| 3-1 | ダクトファンについて | 5 |
| 3-2 | 運転方法 | 6 |
| 3-2 | 安全装置 | 8 |
| 4 | 日常の点検・お手入れ | 9 |
| 4-1 | 日常の点検 | 9 |
| 4-2 | お手入れ | 10 |
| 5 | 故障・異常の見分けかたと処置方法 | 10 |
| 6 | 保管 | 11 |
| 7 | 移設・譲渡・廃棄 | 11 |
| 8 | 仕様 | 12 |
| 8-1 | 仕様表 | 12 |
| 8-2 | 電気結線図 | 13 |

工事編

| | | |
|-----|-------------|----|
| 1 | 安全上のご注意 | 14 |
| 2 | 開こん | 14 |
| 2-1 | 付属品 | 15 |
| 2-2 | 別売品 | 15 |
| 3 | 取り付け | 17 |
| 3-1 | 取り付け場所の選定 | 17 |
| 3-2 | 運搬 | 17 |
| 3-3 | 組み立て | 18 |
| 3-4 | 送風機動力盤の取り付け | 19 |
| 4 | 電気配線の施工 | 20 |
| 3-1 | 注意事項 | 20 |
| 3-2 | 送風機リード線の配線 | 20 |
| 3-3 | 外部入力 | 21 |
| 3-4 | インターロック | 21 |
| 5 | 工事完了後の確認 | 22 |
| 6 | 試運転 | 23 |

その他

| | | |
|---|-------------|----|
| ■ | 定期点検・お客様登録 | 26 |
| ■ | 保証とアフターサービス | 27 |

取扱編

1 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、業務用施設や栽培物および動植物にかかわる拡大損害を意味します。

- 図記号の意味は、次のようになっています。



△は、注意（危険、警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「回転注意」を示します。



⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。



●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「アース工事をすること」を示します。

ネポン指定以外の部品などの取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。改造行為を行った場合、当社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。



警告



接触禁止

運転中は可動部や羽根の中に物や指を入れない

けがのおそれがあります。



専門業者

移設する場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ依頼する

移動工事はお客様ご自身では行わないでください。

不備があると感電や火災のおそれがあります。



注意



分解修理・改造の禁止

分解・修理・改造はしない

ご自分で修理などを行い、使用されますと事故のおそれがあります。



電源を切る

お手入れや点検は、必ず元電源を切ってから行う

感電や動作不良、故障のおそれがあります。



異常・故障時
使用禁止

異常（異音・異臭）を感じたときや故障と思われるときは使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡する

異常のまま使用すると感電や火災、事故のおそれがあります。



取扱説明書
添付

譲渡のときは取扱説明書を添付する

お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡するときは、新しく所有者になる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を機器の目立つ場所にテープ止めしてください。



専門業者

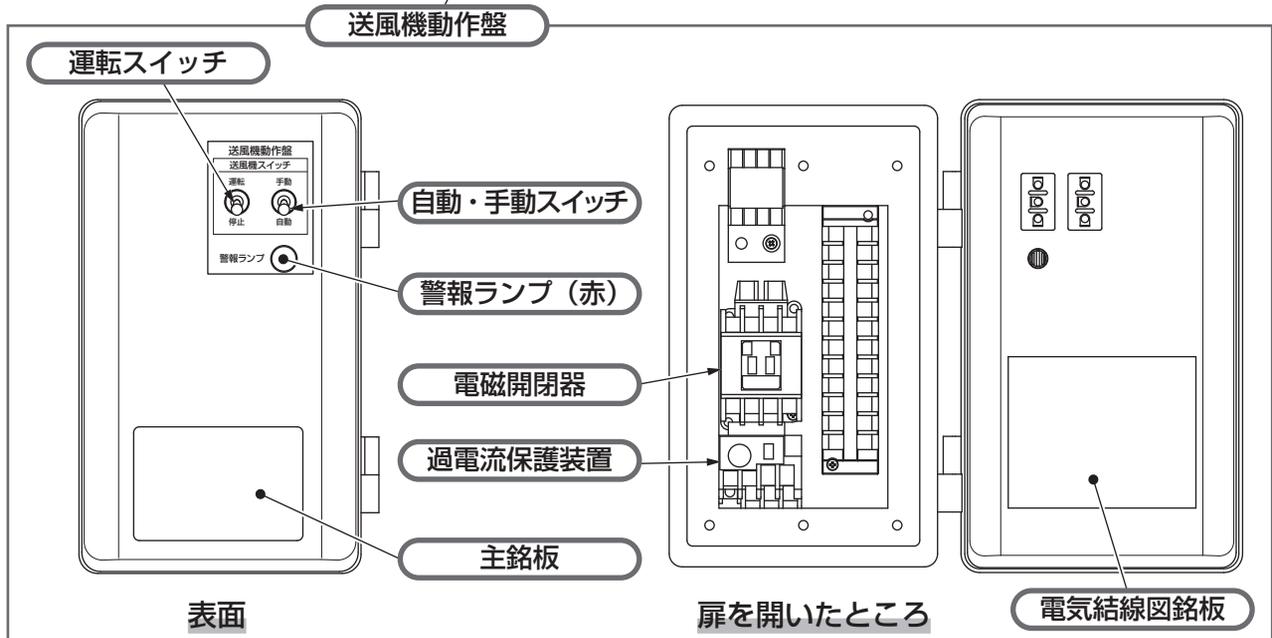
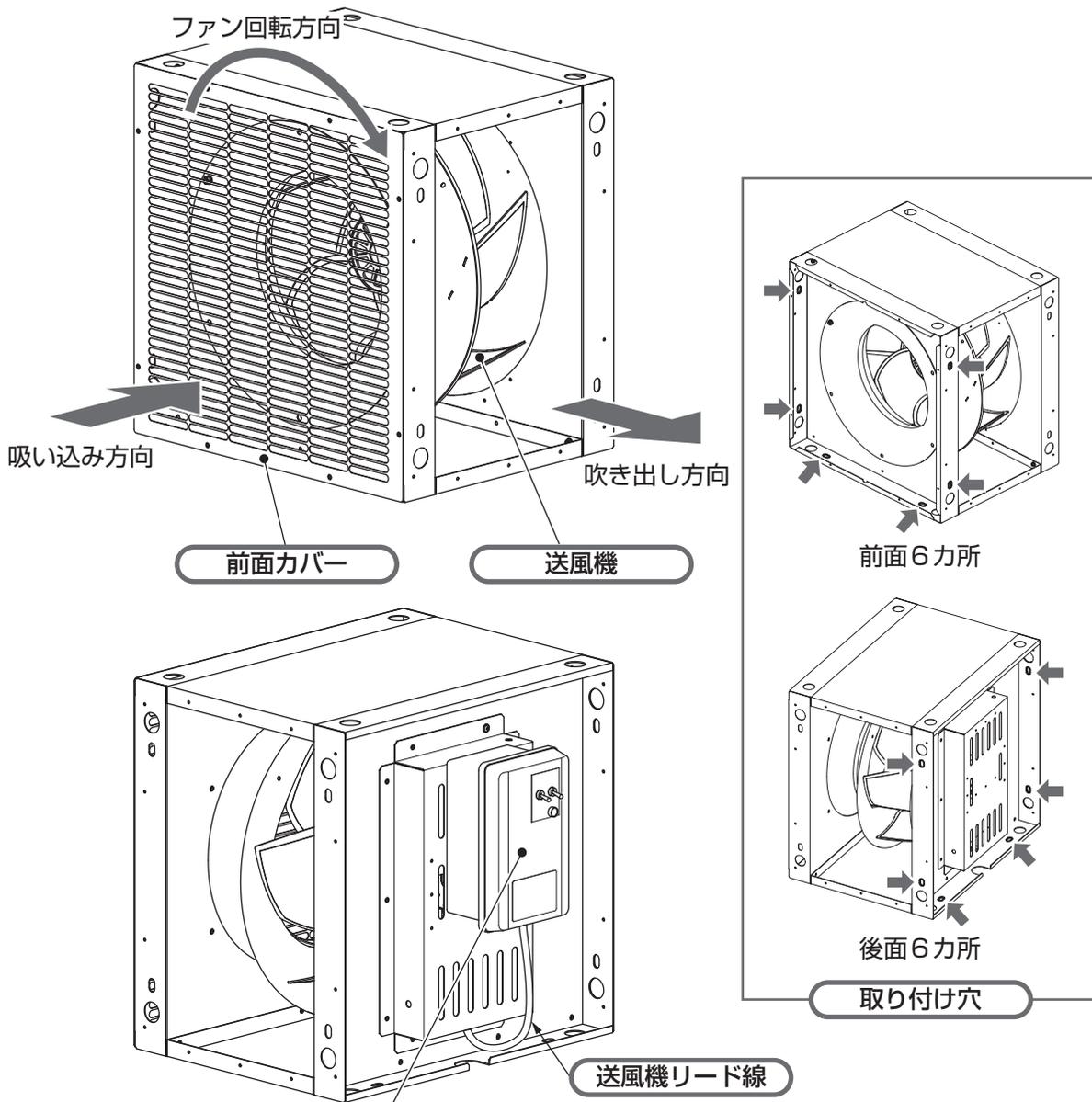
廃棄は専門業者へ依頼する

廃棄する場合は必ず専門業者へ依頼してください。

絶対に投棄などはしないでください。

2

各部のなまえ



3

使用方法

3-1 ダクトファンについて

- ダクトファンは、光合成促進機グロウエアが吹き出したCO₂や、冷暖房機が吹き出した冷風・温風などを吸い込み、ダクトを使って作物周辺に施用する機器です。空気膜を利用した省エネ機器への送風機としてもご利用いただけます。
- ダクトファンを有効にご利用いただき
 - 作物周辺の効果的なCO₂を施用で、光合成を促進
 - 局所環境制御による省エネ
 - 群落内の空気流動による温度ムラの改善・作物の多湿病害の抑制などにお役立てください。
- ダクトファンは、架台やチャンバーボックスに接続して使用します。温室の平らな場所に、しっかりと固定してご使用ください。
- 吹出口やダクトは別売品です。ハウス面積や設置場所、グロウエアの機種、使用する目的になどに応じて、最適な吹出口・ダクトを取り付けてください。



警告

- 施設園芸用以外で使用しないでください
この機器は施設園芸専用です。他の用途には使用しないでください。故障や事故のおそれがあります。
- 運転中は可動部や羽根の中に物や指を入れないでください
けがのおそれがあります。



注意

- ダクトファンの端面に触らないでください
けがのおそれがあります。
- 腐食性ガス（硫化ガス）などを吸い込ませないでください
送風機が腐食して分解・飛散するおそれがあります。
また、腐食性ガスが室内に拡散し危険です。

お願い

- グロウエアが吹き出したCO₂を吸い込む使用方法の場合は、ダクトファン本体が熱くなりますので、長時間手で触れたりしないでください。
やけどのおそれがあります。

お知らせ

- 湿度の高いハウスや海岸に近いハウスなどで使用する場合は、ハウスの鉄骨と同じように腐食することがあります。
また、農薬などの影響で腐食することがあります。
腐食が進むと送風機が分解・飛散したり、本体が転倒・落下したり、電気部品が絶縁劣化するおそれがあります。
部品が腐食したときは、早めに交換してください。

- ダクトファンは生育ガスや温度を広範囲に環境制御する装置のため、作物に病害が発生したときに胞子などを吸い込ませると、ハウス全体に拡散させるおそれがあります。十分に注意してご使用ください。

3-2 運転方法

お願い

- グロウエアが吹き出したCO₂をダクトファンに吸い込ませる使用方法の場合は、インターロック出力回路を使用してください。
ダクトファンが動作していない状況でグロウエアが運転すると、ダクトファンが高温になり故障するおそれがあります。
 - 冷暖房機が吹き出した冷風・温風をダクトファンに吸い込ませる使用方法の場合は、設備の状況によってインターロック出力回路の使用を判断してください。
ダクトファンが動作していない状況で長時間冷暖房機を運転させると、ダクトファンが高温や結露状態になり故障するおそれがあります。
 - 冷暖房機の使用法① 冷暖房機が停止しても作物障害とならない場合
インターロック出力回路を使用してください。
 - 冷暖房機の使用法② 冷暖房機が停止すると作物障害となる場合
インターロック出力回路は使用しないでください。
この場合、ダクトファンが異常停止した時はすぐに異常原因を取り除いて正常な状態に戻してください。
- 20 ページ「電気配線の施工」参照

■ダクトファンの運転方法は、「外部入力による自動運転」と「手動運転」があります。

■以下の手順に従って、運転してください。

自動運転のしかた

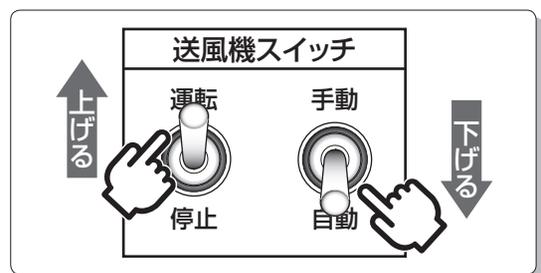
お願い

- グロウエアや冷暖房機と連動させる場合や、外部制御機器により運転させる場合は、外部入力の接続が必要です。
自動運転の準備ができていない場合は専門業者に工事を依頼してください。

① 自動・手動スイッチを「自動」にする

② 運転スイッチを「運転」にする

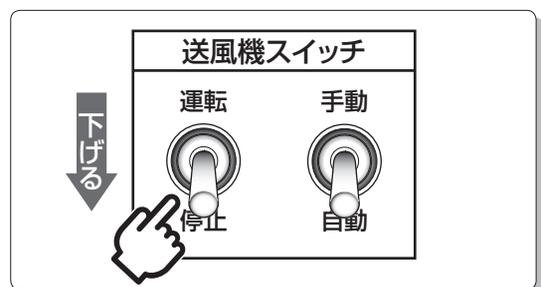
- ◎外部入力が入力ONのとき、ダクトファンが運転します。
- ◎外部入力が入力OFFのとき、ダクトファンが停止します。



停止のしかた

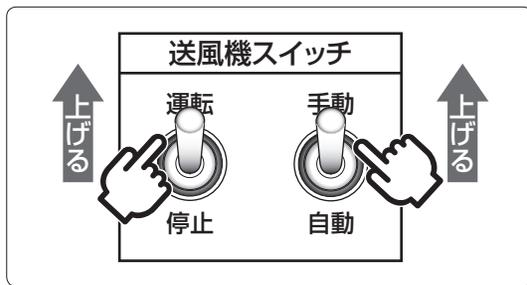
① 運転スイッチを「停止」にする

自動・手動スイッチや外部入力の状態に関係なく、ダクトファンは停止します。



手動運転のしかた

- ① 自動・手動スイッチを「手動」にする
- ② 運転スイッチを「運転」にする
外部入力に関係なく、ダクトファンが運転します。
- ③ 手動運転をやめるときは、運転切替スイッチを「停止」にする



お願い

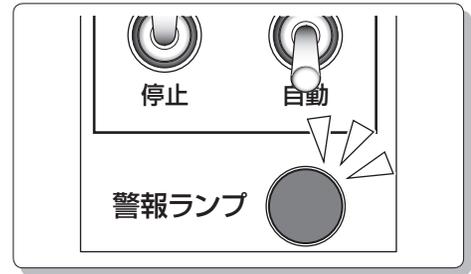
- 使用後は必ず運転スイッチを「停止」にしてください。

スイッチ操作とダクトファンの運転状態

| 運転スイッチ | 自動・手動 スイッチ | 外部入力 | ダクトファンの 運転状態 |
|--------|---------------|----------|-----------------|
| 運転 | 自動 | ON | 運転 |
| | | OFF (なし) | 停止 |
| 運転 | 手動 | ON | 運転 |
| | | OFF (なし) | 運転 |
| 停止 | 自動 | ON | 停止 |
| | | OFF (なし) | 停止 |
| 停止 | 手動 | ON | 停止 |
| | | OFF (なし) | 停止 |

3-2 安全装置

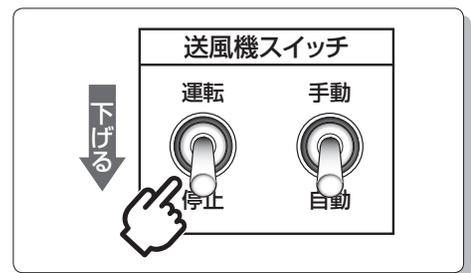
- ダクトファンは、以下の安全装置を搭載しています。異常が発生したときに働いて、運転を停止させたり、警報ランプ（赤）が点灯して異常をお知らせします。
- 安全装置が働いたときは、まず運転を停止してください。安全装置が働いた原因を調べ、取り除いてから再運転をしてください。
- 原因を取り除いても症状が変わらないときは、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。



過熱防止装置

- 送風機モータが異常な高温状態になったときに、送風機モータの焼損を防ぐため、過熱防止装置が働いて、送風機を強制的に停止させます。
 - 警報ランプ（赤）が点灯します。
- 送風機モータ内部の温度が下がると自動的に復帰して、送風機は再び動作します。
- 送風機モータ内部が高温になる状況が改善されないと、送風機停止・再運転を繰り返します。この場合は、以下の処置をしてください。

- ① 運転スイッチを「停止」にする
- ② 原因を確認し、取り除く
 - 以下の項目を確認します。
 - 送風機は正常に回転しているか
 - ・羽根がロックされていない
 - ・大きなブレがない
 - 吸い込み温度が55℃以下か
 - 周辺温度が40℃以下か



過負荷保護装置（サーマルリレー）

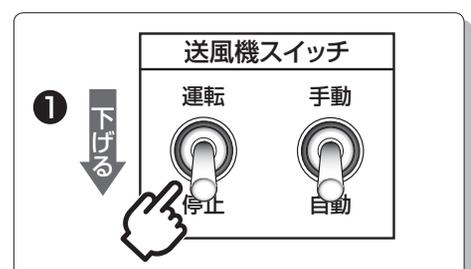
- 送風機モータの電流値が異常に大きくなったときに、過負荷によるモータの焼損を防ぐため、送風機動作盤内にある電磁開閉器の過負荷保護装置（サーマルリレー）が働いて、送風機を強制的に停止させます。
 - 警報ランプ（赤）が点灯します。
- 過負荷保護装置（サーマルリレー）が働いたときは、以下の手順で再運転をしてください。



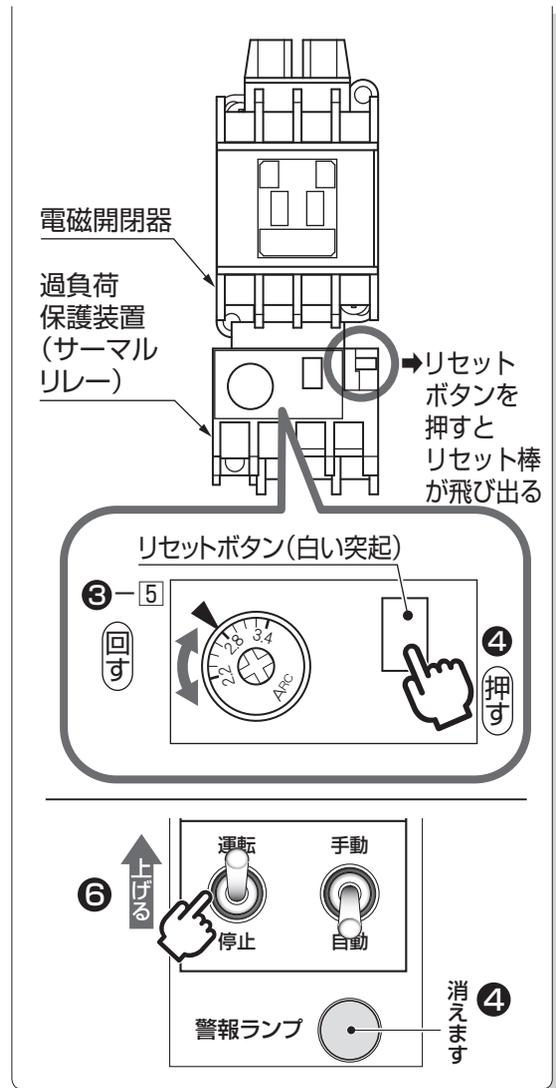
注意

- 再運転するときは、必ず元電源を切ってください。感電のおそれがあります。

- ① 運転スイッチを「停止」にする



- ② 元電源を切る
- ③ 原因を確認し、取り除く
以下の項目を確認します。
 - ① 過負荷保護装置（サーマルリレー）のリセット棒が飛び出しているか
 - ② ゴミ詰まり、さび付き、障害物などで送風機がロックしていないか
 - ③ 送風機回路の配線（3線）のうちの1線が外れていないか
 - ④ 元電源三相の確認（ヒューズなどが切れていないか）
 - ⑤ 過負荷保護装置（サーマルリレー）の設定値が2.8になっているか
・右図のように、▼印に設定値を合わせてください。
- ④ 過負荷保護装置（サーマルリレー）のリセットボタン（白い突起）を押す
 - リセット棒が飛び出します。
 - 警報ランプ（赤）が消灯します。
- ⑤ 元電源を入れる
- ⑥ 運転スイッチを「運転」にする
 - 外部入力がONのとき、送風機が運転します。



4 日常の点検・お手入れ



警告

● お手入れや点検は、必ず元電源を切ってから行ってください
感電や動作不良、故障のおそれがあります。

4-1 日常の点検

■以下の項目を確認してください。

- 異音や異常振動が発生していないか
- ファンを取り付けている金具やボルト類に緩みがないか
- 取り付けねじのさびがひどかったり、破損のおそれはないか
- モータにほこりがたまっていないか
- 周辺に吸い込みやすいものはないか

5 故障・異常の見分けかたと処置方法

4-2 お手入れ

■ほこりなど汚れが目立ってきたら、定期的に掃除を行ってください。

5 故障・異常の見分けかたと処置方法



警告

- 点検・修理は必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所に依頼してください
施工不備により、感電、漏電、動作不良、または火災のおそれがあります。



注意

- 異常（異音・異臭）を感じたときや故障と思われるときは使用を中止し、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
異常のまま使用すると感電や火災、事故のおそれがあります。

■修理を依頼される前に、一度確認してください。

原因が分からないときや、故障を確認したときは、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にお問い合わせください。

| 状況 | 原因 | 処置方法 |
|---------------------------|------------------------|------------------------------|
| ダクトファンが動作しない | 電源配線が接続されていない | 電源配線を接続してください |
| | 運転スイッチが入っていない | 運転スイッチを入れてください |
| | 送風運転入力信号がない | 送風運転入力信号を入力してください |
| ダクトファンが動作しない 【警報ランプ点灯】 | 過熱防止装置が働いている | ➡8 ページ「過熱防止装置」参照 |
| | 過負荷保護装置が働いている | ➡8 ページ「過負荷保護装置（サーマルリレー）」参照 |
| ダクトファンが停止しない | 送風機自動・手動スイッチが手動側になっている | 送風機自動・手動スイッチを自動側にしてください |
| | 送風運転入力信号がある | 送風運転入力信号が切れてダクトファンが停止すれば正常です |

6 保管

- 保管する場合は元電源を切り、点検・お手入れの後ビニールシートなどで覆い、ほこりや水が製品に浸入しないようにしてください。
- 保管する場所の温度が -30°C 以下、 70°C 以上とにならない場所で保管してください。

7 移設・譲渡・廃棄



警告

- 移設する場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所へ依頼してください
不備があると感電や火災のおそれがあります。



注意

- 廃棄は専門業者へ依頼してください
廃棄する場合は必ず専門業者へ依頼してください。絶対に投棄などはしないでください。
- 譲渡のときは取扱説明書を添付してください
お使いになっている機器を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を機器の目立つ場所にテープ止めしてください。

8

仕様

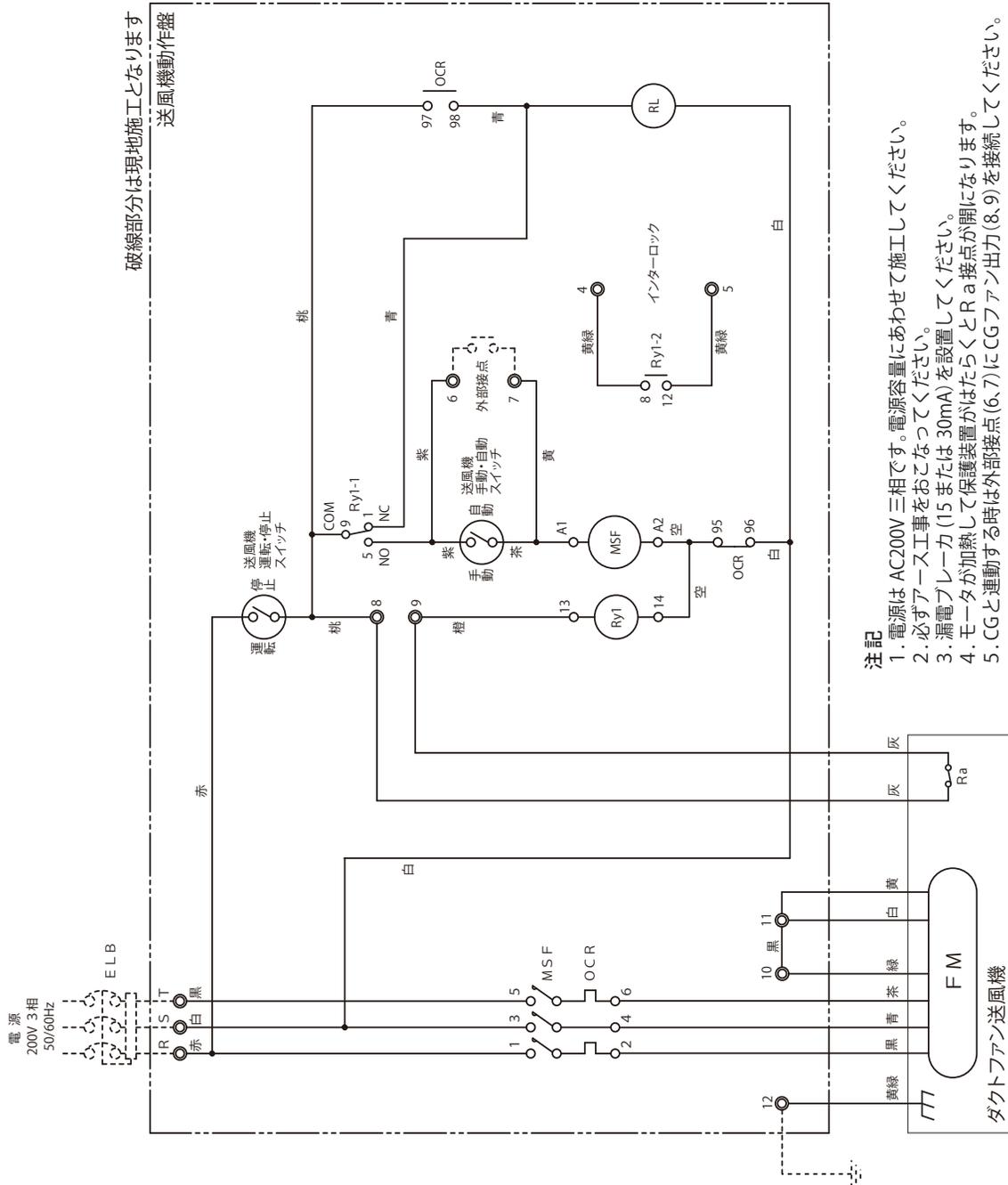
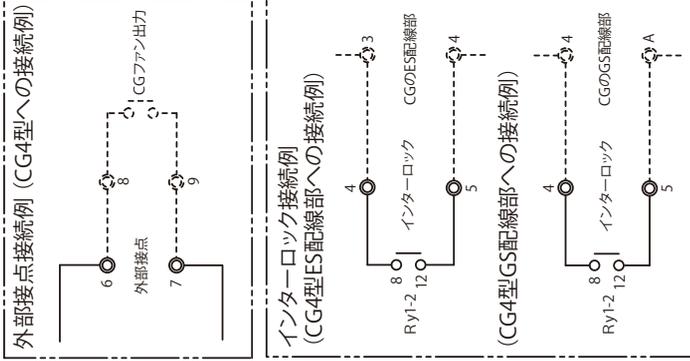
8-1 仕様表

| | |
|-----------|---|
| 用途 | 施設園芸用ダクト接続式送風機 |
| 型式 | DF-450T |
| 電源 | AC200V 三相 50/60Hz |
| 消費電力 | 550/670W ※ ¹ |
| 運転電流 | 2/2.4A ※ ¹ |
| 保護等級 | IP54 |
| 製品質量 | 35kg |
| 使用環境温度 | 0~40℃ |
| 吸い込みガス温度 | 0~55℃ ※ ² |
| 操作部 | 運転・停止スイッチ、送風機手動・自動スイッチ |
| 外部入力 | 送風運転入力：無電圧接点 |
| 外部出力 | インターロック出力：無電圧接点 |
| 表示 | 警報ランプ |
| 運転音 | 70dB (Aスケール) ※ ³ |
| 吹出口 (別売品) | φ400×1個、φ300×2個 (φ300×1個) ※ ⁴ |

- ※¹ 表中「/」で示す数値は、それぞれ50/60Hzの値を示します。
φ400吹出口の風量約35m³/min、ダクト静圧約250Paのときの値です。
- ※² グロウエアとの距離を1m離すと、吸い込み温度は55℃以下となります。
送風機は吸い込み温度65℃まで使用できますが、寿命が短くなることがあります。
なるべく吸い込み温度55℃以下で使用してください。
- ※³ 「φ400吹出口・上吹き出し・ダクト接続なし」の状態にて測定しています。
- ※⁴ φ400吹出口×1個、またはφ300吹出口×2個で使用してください。
φ300吹出口×1個で使用する場合は、風量が少なくなります。

8-2 電気結線図

| 記号 | 名称 |
|-----|------------|
| FM | ダクトファンモーター |
| Ry1 | リレー |
| ELB | 漏電遮断器 |
| Ra | 警報 |
| MSF | 電磁開閉器 |
| RL | 警報ランプ |
| OCR | 過負荷保護装置 |



注記

1. 電源はAC200V 三相です。電源容量にあわせて施工してください。
2. 必ずアース工事をおこなってください。
3. 漏電ブレーカ(15または30mA)を設置してください。
4. モーターが加熱して保護装置がはたらくとRa接点が開になります。
5. CGと連動する時は外部接点(6,7)にCGファン出力(8,9)を接続してください。

破線部分は現地施工となります
送風機動作盤

工事編

1

安全上のご注意



警告



転用禁止

施設園芸用以外で使用しない
この機器は施設園芸専用です。他の用途には使用しないでください。故障や事故のおそれがあります。



専門業者

工事や移動は、お買い上げの販売店または工事業者が行う
お客様ご自身で工事をされ、施工不備があると感電や火災のおそれがあります。



法令順守

火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事はそれぞれ指定の工事業者に依頼するなど法令の基準を必ず守る
法令違反になる場合や施工不備により、感電、漏電、動作不良、または火災のおそれがあります。



注意



吹出口
取り付け

吹出口は必ず取り付ける
けがのおそれがあります。



水濡れ禁止

雨水・散水などが直接かからない場所に取り付ける
感電や動作不良、故障のおそれがあります。



アース工事
をすること

アース（D種接地）工事を確実に必ず行う
感電や故障のおそれがあります。



漏電ブレー
カー設置

漏電遮断器（15mAまたは30mA）を必ず取り付ける
感電や故障のおそれがあります。

2

開こん

お願い

- 作業をするときは、手袋などの保護具を装着してください。
ダクトファンをダンボールから取り出すときに、ダクトファンの端面で手を切るおそれがあります。
- ダクトファンを横倒しにしたり、手荒く扱ったりしないでください。
- 送風機リード線を傷付けないようにしてください。

2-1 付属品

- 右の付属品があることを確認してください。
- 付属品はなくさないでください。

| | | | |
|----------------|--------------------------|-----------------------------|---------------|
| | | | |
| 送風機動作盤 (1個) | ねじ ナベセムスM4×20 (6本) | ねじ TPナベタッピング5×12 (8本) | 取扱説明書 (1冊) |

2-2 別売品

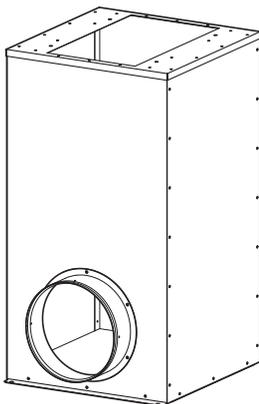


注意

- 吹出口は必ず取り付けてください
けがのおそれがあります。

- 以下の部品を別売品として用意しています。

①チャンバボックス (下吹きタイプ)



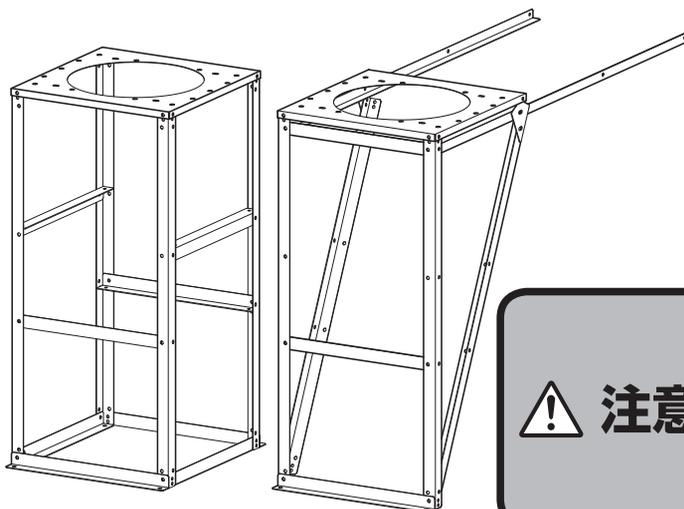
- ダクトファンを下吹き出しで使用するときの部品です。
- ダクトファンが吸い込んだCO₂などを下部の吹出口から吹き出します。



注意

- 転倒しないように、ボルトやくいなどでしっかりと固定してください
- ダクトファンが倒れないように、チャンバボックスとダクトファンをしっかりと固定してください

②架台セット



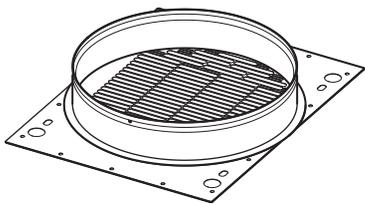
- ダクトファンを載せて使用します。



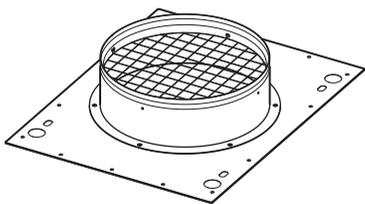
注意

- 転倒しないように、ボルトやくいなどでしっかりと固定してください
- ダクトファンが倒れないように、架台セットとダクトファンをしっかりと固定してください

③ 吹出口φ400

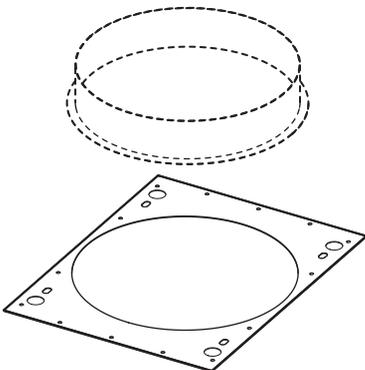


④ 吹出口φ300

**注意**

- 付属の吹出口ガードを必ず使用してください
けがのおそれがあります。

⑤ 吹出口φ400取り付け板



- ダクト配管を接続する場合に、市販のφ400フランジを取り付けて使用します。

**注意**

- 必要に応じて、指が入らないように
防護対策をしてください
けがのおそれがあります。

3

取り付け



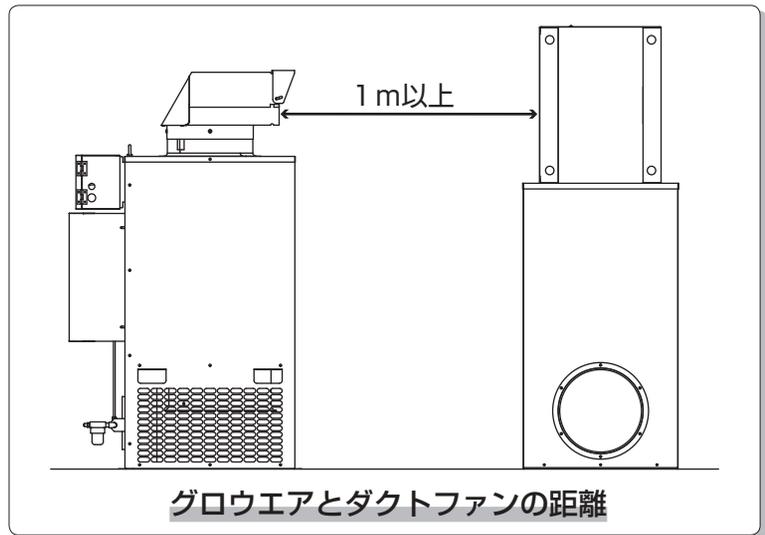
警告

- 工事は、お買い上げの販売店または工事業者が行ってください
施工不備があると感電や火災のおそれがあります。

3-1 取り付け場所の選定

■以下の注意を守って、取り付ける場所を選定してください。

- 水平に取り付けできる場所
- 雨水や散水などの水が直接かからない場所
- グローエアとダクトファンとの距離が1m以上離せる場所
グローエアとダクトファンとの距離を1m以上離さない、送風機が過熱して故障するおそれがあります。
- 点検の為、ダクトファンの周囲60cm以上の空間を照れる場所
- カーテンなどのダクトファンが吸込みやすいものが周囲にない場所



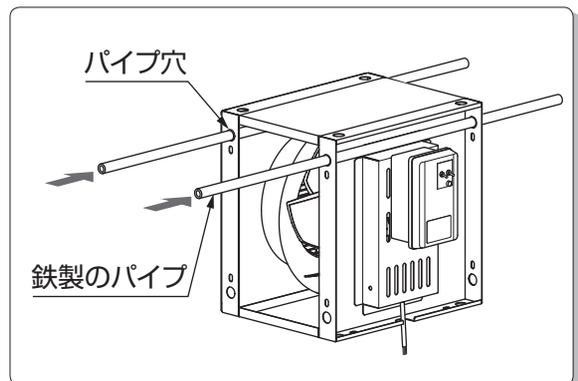
3-2 運搬

■以下の説明に従って、ダクトファンを運搬してください。

- ① ダクトファンの重さに十分耐えられる鉄製のパイプを用意する
- ② ダクトファンのパイプ穴に①のパイプを通して運搬する

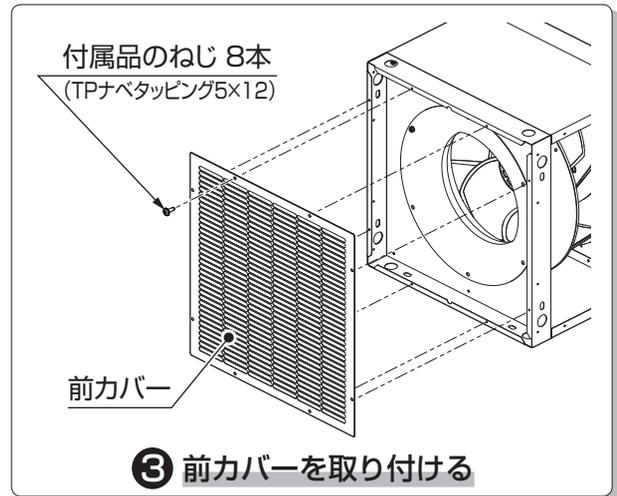
お願い

- 運搬するときは、ダクトファンの端面を持たないでください。
手を切るおそれがあります。



③ 前カバーを取り付ける

◎付属品のねじ（TPナベタッピング5×12）8本を使って、ダクトファンに前カバーを取り付けます。

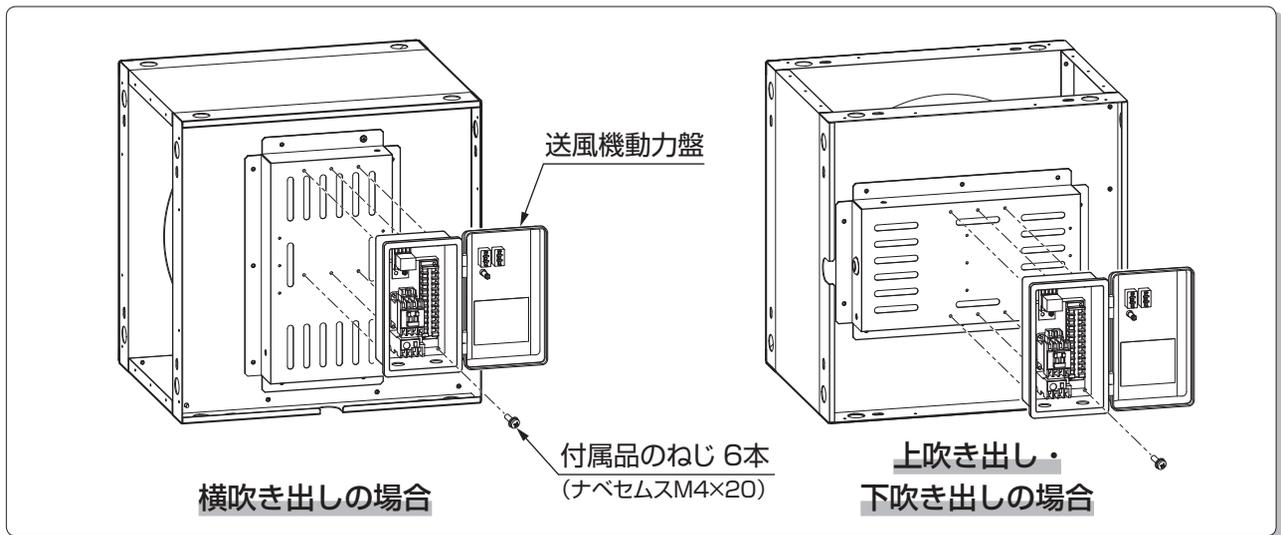


お願い

●チャンバボックスや架台セットはしっかりと固定してください。

3-4 送風機動力盤の取り付け

■付属品のねじ（ナベセムスM4×20）6本を使って、送風機動力盤をダクトファンに取り付けてください。



4

電気配線の施工

3-1 注意事項



警告

- 電気工事は、お買い上げの販売店または工事業者が行ってください
施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。



注意

- アース（D種接地）工事を確実に必ず行ってください
感電や故障のおそれがあります。
- 漏電遮断器（15mAまたは30mA）を必ず取り付けてください
感電や故障のおそれがあります。

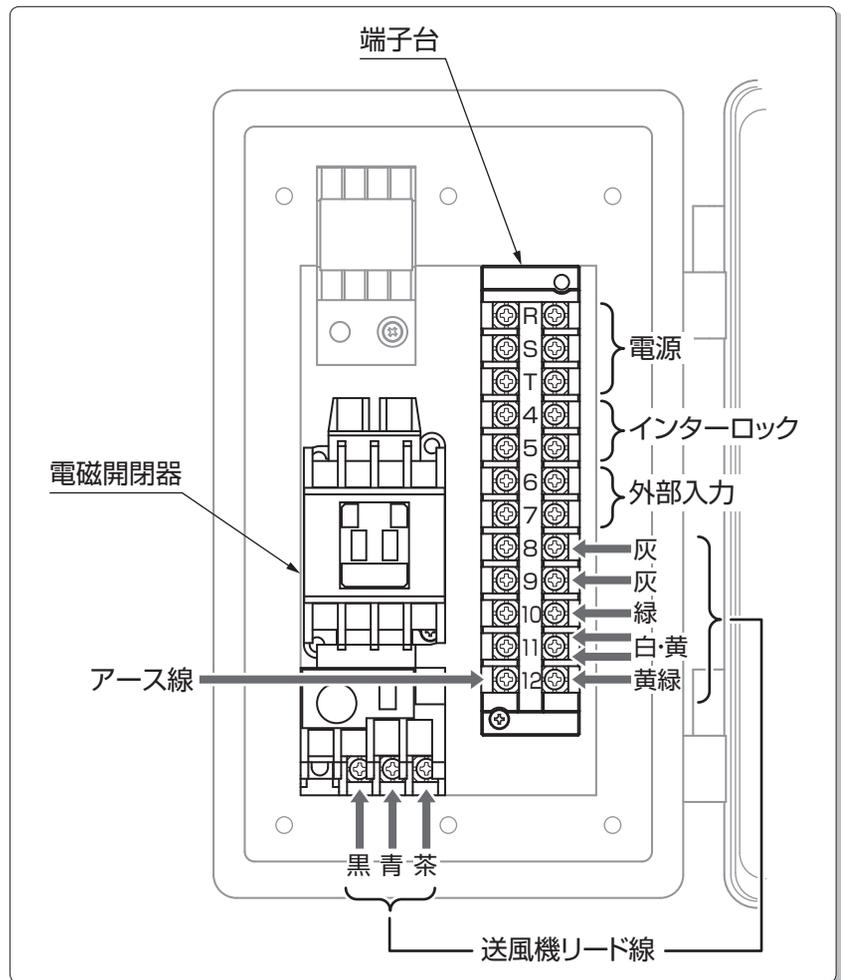
■ 電源はAC200V三相です。電源容量に合わせて施工してください。

■ 感電事故を防止するため、必ずアース工事をしてください。（D種接地工事、接地抵抗100Ω以下）

3-2 送風機リード線の配線

■ 右図に従って、配線をしてください。

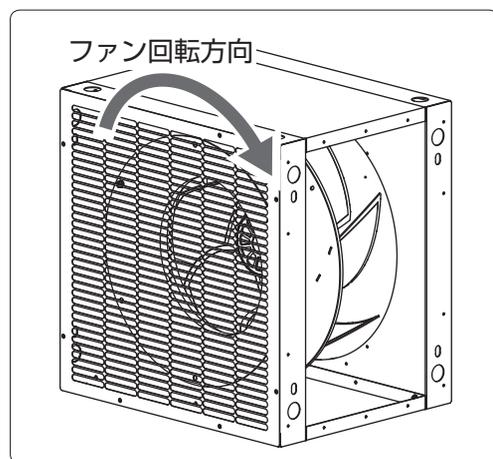
- ◎ 端子台カバーと電磁開閉器のカバーを外してください。



送風機の回転方向の確認

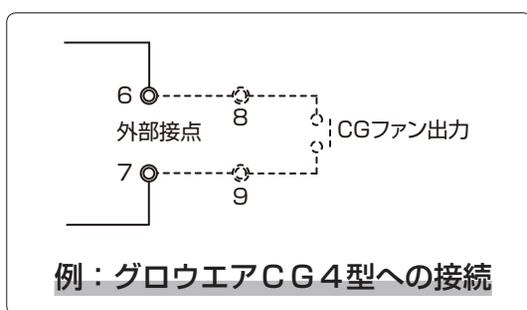
■以下の手順で送風機の回転方向を確認してください。

- ① 元電源を入れる
- ② ダクトファンの運転スイッチを「運転」にする
- ③ 自動・手動スイッチを「手動」にする
- ④ すぐに自動・手動スイッチを「自動」にし、送風機の回転方向が右回り（時計回り）であることを確認する
- ⑤ 逆回転している場合は、元電源を切り、電源用配線のR相とT相を入れ替える



3-3 外部入力

■グロウエア、冷暖房機、その他の制御盤の連動出力（無電圧接点）に接続してください。

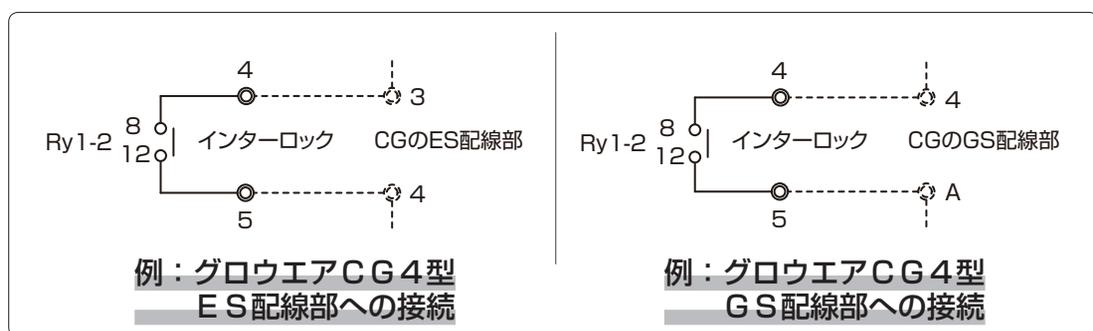


3-4 インターロック

グロウエアと連動する場合

■インターロックは、ダクトファンの異常時に回路が断線しても問題がない個所に接続してください。

- 運転スイッチと同等の個所に接続してください。
- ファンタイマ回路には接続しないでください。

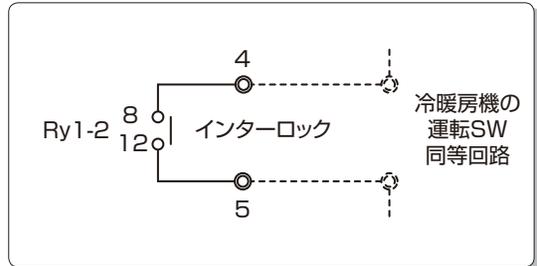


冷暖房機と連動する場合

■冷暖房機が停止してしまうと作物障害が発生するような場合は、インターロックの使用はしないでください。この場合は、ダクトファンが異常停止したらすぐに異常原因を取り除いて正常な状態に戻してください。機器が故障するおそれがあります。

■冷暖房機が停止しても作物障害とならない場合は、右図に従ってインターロック出力回路を使用してください

- 運転スイッチと同等の個所に接続してください。
- ファンタイマ回路には接続しないでください。



警告

- 据え付け工事が正しくされているか確認してください
施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

■工事が完了したら、お客様と一緒に必ず試運転をしてください。

■お客様にこの取扱説明書に従って説明をしてください。

■下記のチェックシートに従って点検をしてください。

| No. | 点検項目 | 参照ページ |
|-------|--|-------|
| ■設置場所 | | |
| 1 | ダクトファンは雨水や散水設備などの水が直接かからない場所に設置されている | 17ページ |
| 2 | 水平に設置されている | 17ページ |
| 3 | ダクトファンの周囲に点検のためのスペースがある | 17ページ |
| 4 | 吸込みやすい物が近くにない | 17ページ |
| ■設置方法 | | |
| 5 | ダクトファンはチャンバボックスや架台セットに確実に固定されている | 15ページ |
| 6 | チャンバボックスや架台セットはダクトファンが転倒しないようにしっかりと固定されている | 15ページ |
| ■電気配線 | | |
| 7 | 電源は200V三相で電源容量は十分ある | 20ページ |
| 8 | アース工事は確実にこなされている | 20ページ |
| 9 | 連動機器とのインターロックが適切に配線されている | 20ページ |
| 10 | 連動運転している機器との外部入力 that 適切に配線されている | 20ページ |

6

試運転

- 工事終了後、お客様立会いのもと取り付け状態を確認し、試運転をしてください。
 - 以下のことを確認してください。
-

- 本体が確実に取り付けられている
- 電気工事が正しく施工されている
- ファンが正しく動作している
- ファン運転中に異音や異常振動がない



定期点検・お客様登録

定期点検について



注意

- 定期的に点検・整備を受けてください
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはサービスセンターまでご連絡ください。

また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所 または サービスセンター

FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX  0120 - 926413

お客様登録について

ネポン製品をご購入いただいたお客様には、よりよいサービスを提供するため、「お客様登録」をお願いしております。

「お客様登録」にお申し込みいただくと、ご使用開始から1年（もしくは1シーズン）の無料修理保証期間が2年（もしくは2シーズン）に延長されます。

お申し込み方法は…

- ①別途添付している保証書の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入いただき
- ②保証書から「お客様登録申込書（ネポン控え）」を切りとって
- ③返信用封筒に入れて、ポストに投函してください



保証とアフターサービス

保証について

- この製品は、保証書を別途添付しています。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。
- お客様登録をお申し込みいただくと、保証期間が2年に延長されます。
詳しくは、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後12年です。
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

10 ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切って（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜いて）、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

■保証期間中は…

修理に関しては保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは…

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。

技術料…故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代…修理に使用した部品代金です。

交通費…車両・移動に必要な料金です。

■ご連絡いただきたい内容

●品名 ●型式

●お買い上げ日（年 月 日）

●故障の状況（できるだけ具体的に）

●お名前 ●電話番号

●ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください）

●訪問希望日

修理のご用命は…

お買い上げの
販売店

または

お近くの
ネポン営業所

ご相談

サービスセンター

☎(046) 247-3195

月曜日～金曜日 9:00～17:00

FAX  0120-926413

お買い上げ年月日／ 年 月 日

お買い上げ販売店／

電話番号 () -

お客様へ

お買い上げ年月日、
販売店名を記入してください。
サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>